

1. 発生日時 2021年 4月10日(土) 08:50頃
2. 発生場所 東名 名古屋IC Aランプ (名古屋第二基地入口付近)
3. 概要 名二環集中工事、水切り板撤去作業の為現地へ向かう際、橋梁点検車(BT)アームがBOX上部に衝突、添架してあるNEXCO照明動力線(4本内、1本)を損傷させたもの。春日井BOX-1高さ3.3m、車輻3.79m
10:55に橋梁点検車は離脱済み
4. 損傷状況 NEXCO照明動力線保護管のみ損傷、導通に異常なし。BOX躯体損傷(角欠け)、橋梁点検車(アーム部損傷)
道路管制センター制御卓に故障のアラーム信号は上がっていない。後日、保護管の補修を行う予定
<■■■■保守班点検結果13:30 :現状運用は可能。>
5. 被災状況 怪我人無し
6. 要因
 - ①当該BOXは、橋梁点検車(2t)と同様の中型車のルートとして常用していたことで大丈夫といった先入観から高さがある特殊車両としての認識が低く、運行経路の確認時に高さ確認を失念した。
 - ②集中工事中の事故が無いように、現場作業時のやるべき安全対策(保護具、工具、機械操作等)に意識が偏重。
 - ③運行経路(ルート)の安全を検証する手続きがなかった。
7. 今後対応
 - ①東名、名二環の全BOXの内空高さの実測と架空線等添架物の有無の調査をおこない、メンテ版Boxハザードマップを作成(高さ、添架物、架空線等)
 - ②高所作業車等を使用する際は、作業計画時に現地踏査をおこなうと共に運行計画書(地図平面にルート、注意箇所有無)と上記BOX調書で高さ制限の確認をおこない、高さの検証結果を近接工事確認書の判断理由欄に記載する(記載方法は別添埋設物工事週間工程表に例示)。併せて検証時の根拠を添付する。
 - ③当該ルートは橋梁点検車の運行経路に使用せず、安全が確認されたルートを運行

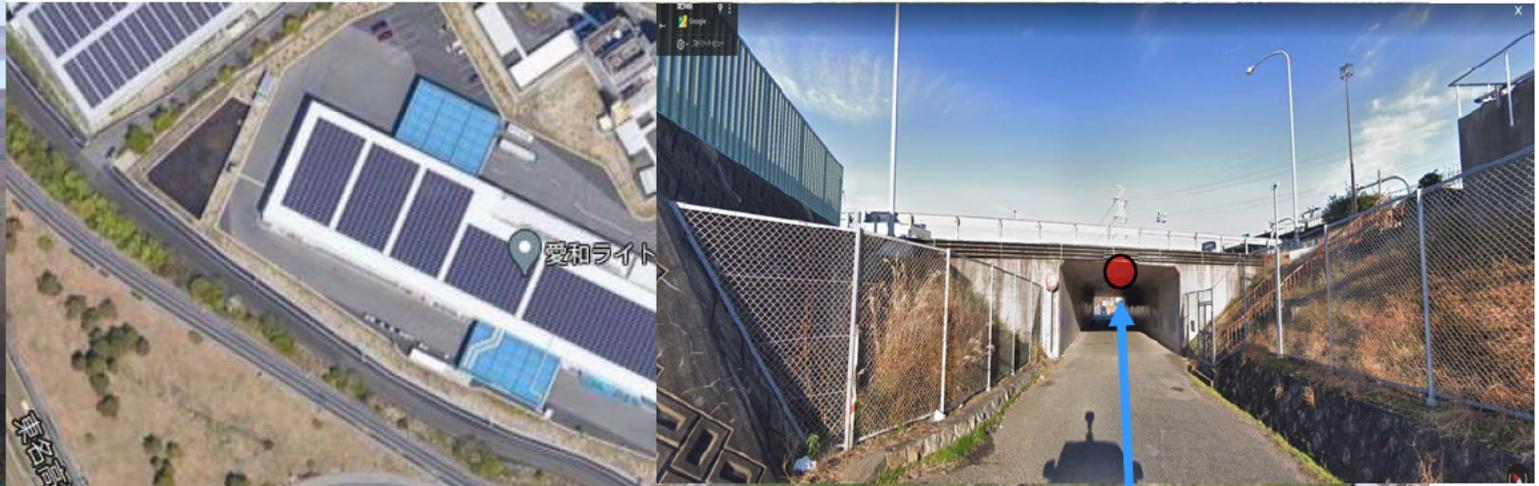
名二環集中工事 高所作業車BOX損傷事象

2021.04.10

事業所



損傷状況



事故発生場所

経路

